

愛知県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画の概要

令和5年3月公表
(令和7年3月変更)

- 環境との調和に配慮した持続可能な農林水産業の実現を目指し、環境負荷低減事業活動を推進するとともに、「**あいち農業イノベーションプロジェクト**」による環境負荷の低減に資する新技術・新品種の開発や、愛知県版地産地消の取組「**いいともあいち運動**」を通じた生産者と消費者・流通関係者の相互理解を促進する。

【作成主体】 愛知県及び県内全54市町村

【計画の主な目標】

- ・ みどりの食料システム法計画認定件数：1500件（R5-R7）
- ・ 環境に配慮した持続的農業技術の開発：11技術（R7）
- ・ 有機農業に取り組む面積：900ha（R12）

【取組のポイント】

- ・ 県、市町村、関係団体等からなる「愛知県環境と安全に配慮した農業推進協議会」を設置し、各地域に応じた取組を支援
- ・ 「あいち農業イノベーションプロジェクト」により、環境負荷の低減に資する新技術・新品種の開発を推進
- ・ 地産地消の取組である「いいともあいち運動」の一層の推進。環境負荷の低減等のための取組の見える化などにより生産者と消費者・流通関係者の相互理解を促進

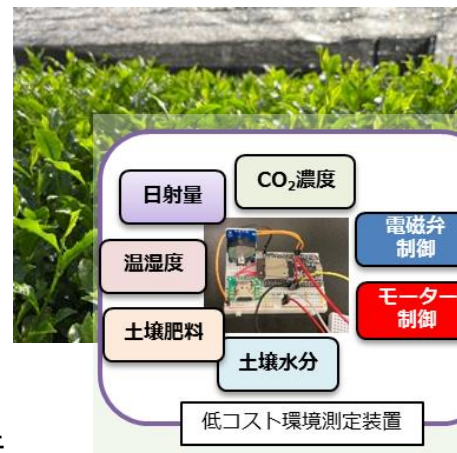
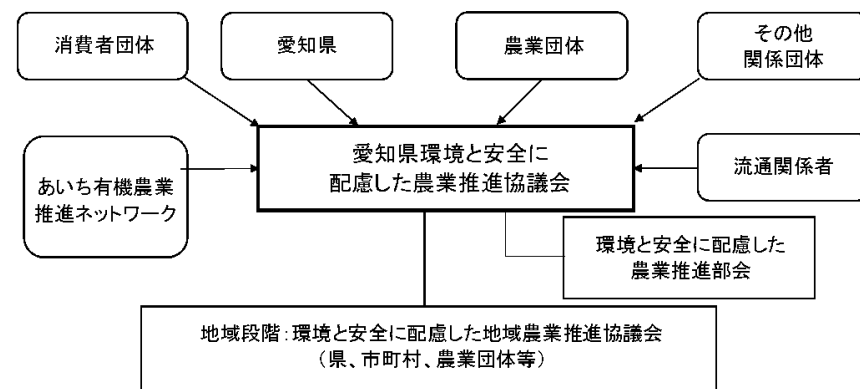
【特定区域の設定】

＜岡崎市オクオカ地域＞ 新たな有機農業者の増加、産地の維持・活性化を図り、有機農業産地としてブランド化を推進

＜大府市米田地域（米田町五丁目の一部）＞ 「有機農業担い手講座」を通じて担い手の育成と栽培技術の体系化・共通化に取り組み、「おおぶニック農産物」のブランド化を図る

＜南知多町国営農地開発事業南知多地区山海団地の一部と新池・仲根団地の一部＞ 有機農業団地のゾーニングや、竹など未利用資源を活用した栽培技術の確立、学校給食や企業等と連携した消費促進により、有機農業産地としてブランド化を推進

環境と安全に配慮した農業の推進体制



あいち農業イノベーションプロジェクトで
適正施肥に取り組む茶のIoT管理技術



「いいともあいち運動」の推進